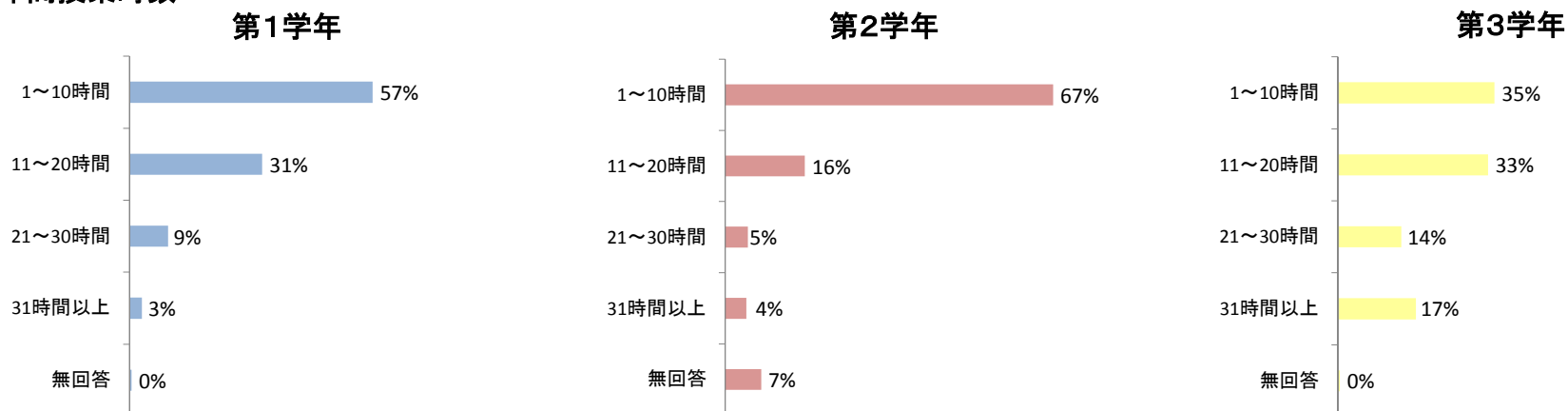


性教育(中学校)の実施状況調査結果について

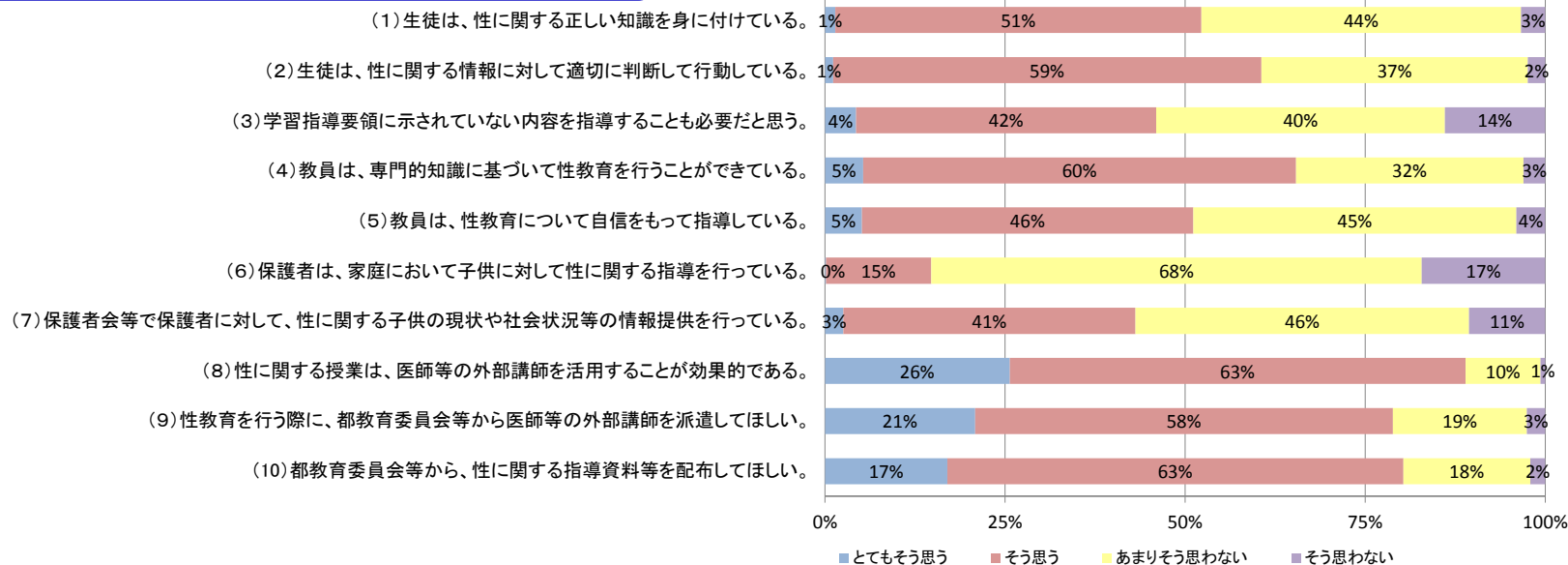
○調査対象: 都内全公立中学校等(624校) ○回答者: 校長 ○実施時期: 平成30年8月3日~23日 ○回収率: 100%

1 平成30年度 性教育の教育課程上の位置付けについて(各学年・各教科等の年間授業時数)

○年間授業時数



2 性教育に関する状況について(管理職の意識調査)



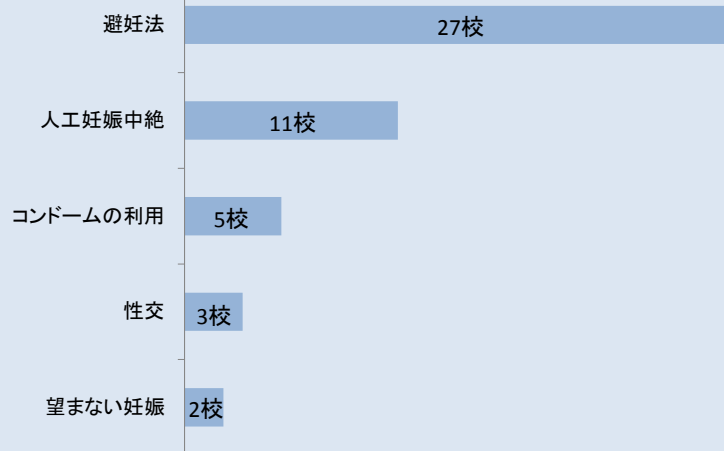
3 避妊法や人工妊娠中絶等、中学校学習指導要領に示されていない内容の授業での指導について

○ 避妊法や人工妊娠中絶等の内容を授業で指導していますか。

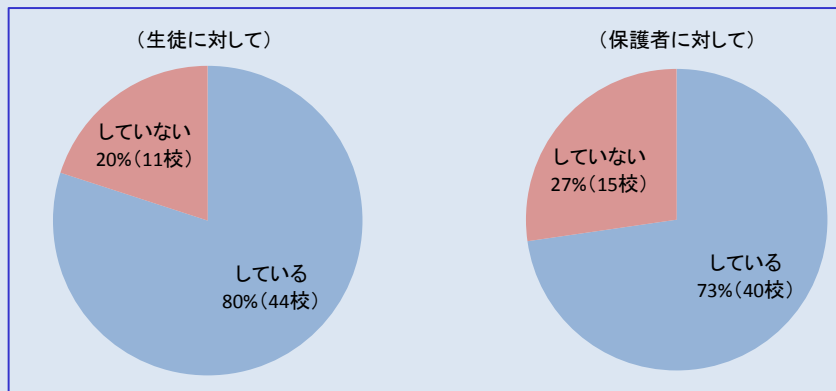
指導している
(する予定である)
9%(55校)

指導していない
91%(569校)

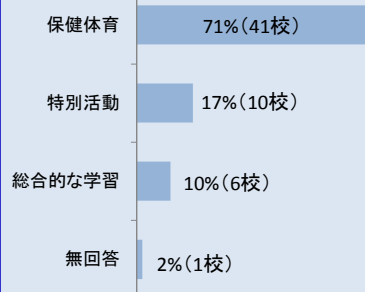
・指導している主な内容
(自由記述から)



・生徒や保護者への事前の周知



・教育課程上の位置付け
(複数回答)



・授業で指導している理由
(自由記述 抜粋)

- ・情報化社会の進展により、様々な情報が氾濫している状況で、情報を選択するための正しい知識を身に付けさせることが必要のため
- ・性感染症を教える中で、知っておいた方がよいため
- ・命の大切さを知り、望まない妊娠をさせないため

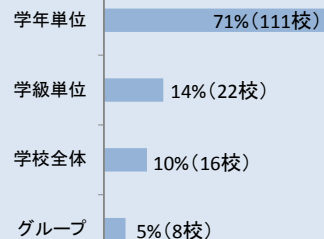
4 平成30年度 性教育に関する外部講師の活用状況

○ 外部講師を活用した指導の実施状況

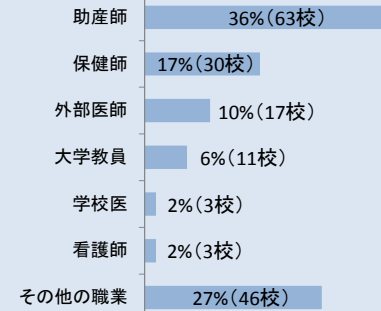
実施
23%(144校)

実施していない
77%(480校)

・外部講師の授業形態
(複数回答)



・外部講師の職業
(複数回答)



※本調査結果は、学校から提出された調査票を集計したものであり、また、パーセント表示は、小数第一位で四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある。